



【鷺と雪】 北村薫/著

請求記号 9 - キ

帝都に忍び寄る不穏な足音。ルンペン、ブッポウソウ、ドッペルゲンガー...。良家の令嬢・英子の目に、時代はどう映るのか。昭和十一年二月、雪の朝、運命の響きが耳を撃つ—。



【1Q84】book1/book2 村上春樹/著 請求記号 9 - ム

こうであったかもしれない」過去が、その暗い鏡に浮かび上がらせるのは、「そうではなかったかもしれない」現在の姿だ...。ファン待望、村上春樹の書き下ろし最新長編小説、ついに刊行。



【高千穂伝説殺人事件】 内田康夫/著 請求記号 9 - ウ

天孫降臨の地と言われる高千穂。宮崎で行われた“真の伝説の地”を巡るシンポジウムの開催中、高千穂町町議会議員の帆村が轢死した。同じ頃、東京では美貌のヴァイオリニスト千恵子の父親が失踪。留守番電話には“ブツはニュータバルからタカチホへ”という謎のメッセージが残されていた。危険を顧みずに千恵子は単身宮崎へ飛ぶ。彼女の叔父に頼まれ、浅見光彦も後を追うが—。荒ぶる神が走りさるかのごとく高千穂の地で相次ぐ変死。神話の国に隠された巨大な秘密を浅見光彦は暴けるのか—！内田康夫、伝説シリーズ渾身の傑作ミステリー。



【プリンセス・トヨトミ】 万騎目学/著 請求記号 9 - マ

このことは誰も知らない。五月末日の木曜日、午後四時のことである。大阪が全停止した。長く閉ざされた扉を開ける“鍵”となったのは、東京から来た会計検査院の三人の調査官と、大阪の商店街に生まれ育った二人の少年少女だった—。前代未聞、驚天動地のエンターテインメント、始動。



【薄暮】 篠田節子/著 請求記号 9 - シ

田園を美しく輝かせる一瞬の光が、雪国に厳しい冬の訪れを告げる。封印されていた絵が脚光を浴びた時、「閉じられた天才画家」は妻の元を離れ、郷土の人々の欲望と疑心がうごめく...。著者の新境地を示す傑作長編。



【 6】 1 ~ 7 あさのあつこ/著 請求記号 j9 - ア

2013年の未来都市“NO.6”。人類の理想を実現した街で、2歳の時から最高ランクのエリートとして育てられた紫苑は、12歳の誕生日の夜、「ネズミ」と名乗る少年に出会ってから運命が急転回。どうしてあの夜、ぼくは窓を開けてしまったんだろう？ 飢えることも、嘆くことも、戦いも知らずに済んだのに...



【運命の人四】 山崎豊子/著 請求記号 9 - ヤ

誇り、家族、一生を賭けるつもりだった仕事。全てを失った男が彷徨の末、再生への道を歩き出した時、アメリカから届いた思いがけない報せが、真実の扉をこじ開けた…。感動の巨編、ここに完結。



【きのうの神さま】 西川美和/著 請求記号 9 - ヤ

『ゆれる』で世界的な評価を獲得し、今、最も注目を集める映画監督が、日常に潜む人間の本性を渾身の筆致で炙りだした短編集。『ディア・ドクター』に寄り添うアナザーストーリーズ。



【アマルフィ】 真保裕一/著 請求記号 9 - シ

2009年7月公開の映画「アマルフィ」の原作本。ローマで日本人少女が誘拐。真相を追い、外交官・黒田がイタリアを駆ける…。サスペンスの名手が書き下ろす、エンターテインメント小説の新境地。



【毛利は残った】 近衛龍春/著 請求記号 9 - コ

関ヶ原敗戦。石高は4分の1に、家老は責任のなすりあい、長州藩はどうなるか…。お人好しの坊ちゃん大名・呑気な殿様と家臣団は、絶望的な状況から立ち上がる。どん底からの汗と涙の組織復活の物語。



【絶望ノート】 歌野晶午/著 請求記号 9 - ウ

いじめに遭っている中学2年の太刀川照音は、その苦しみ、両親への不満を「絶望ノート」と名づけた日記帳に書き連ねていた。そんな彼はある日、校庭で人間の頭部大の石を見つけて持ち帰り、それを自分にとっての“神”だと信じた。神の名はオィネプギプト。エスカレートするいじめに耐えきれず、彼は自らの血をもって祈りを捧げ、いじめグループ中心人物の殺人を神に依頼した。「オィネプギプト様、是永雄一郎を殺してください」—はたして是永はあっけなく死んだ。しかし、いじめはなお収まらない。照音は次々に名前を日記帳に書きつけ神に祈り、そして級友は死んでいった。不審に思った警察は両親と照音本人を取り調べるが、さらに殺人は続く—。



【こんちゅうってなんだ?】ア・ロクウェル/さく 請求記号 E - ア

このムシは昆虫だろうか? コラージュによる美しい生き物を見ながら、昆虫の定義、共通点、相違点など分類のてがかりになる特徴をひとつひとつ明らかにしていきます。